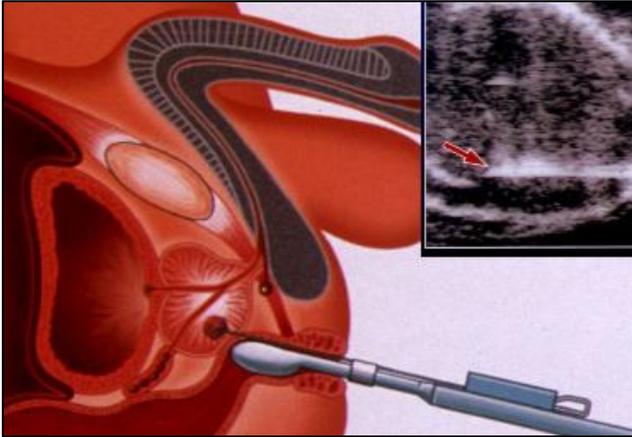


セン南 うろでる プレス (2006年秋号)



病院だと入院が必要な前立腺生検。当院では日帰りで行っております。その安全性につき、秋の泌尿器科学会で報告致します。このため、**10月21日(土)は休診**となります。

無床診療所での日帰り 前立腺生検1年間の成績

直腸指診、前立腺特異抗原、経直腸的超音波検査により、前立腺癌らしいかどうかは見当がつかますが、確定診断となりますと、針生検にて前立腺の組織を採取し、顕微鏡で検査する組織診断をしなければいけません。上の図は、超音波で見ながら、前立腺の針生検を行う方法を示したものです。当院では、2005年4月から2006年3月までの1年間に24例の方に日帰り、外腺を中心とした系統的6箇所生検を行いました。抗生物質を点滴しながら、仙骨麻酔下に行いました。6箇所生検に要する時間は5分程度でした。生検後、採尿し、尿の性状を観察した上で、帰宅していただきました。検尿で軽度の血尿をほぼ全例に認めましたが、全例30分後に徒歩にて帰宅され、帰宅後のトラブルはありませんでした。24例中13例に癌が発見されました。PSA値が10未満の9例中5例に癌が発見されました。

Q. ウロデルって何？

A. ラテン語で泌尿器はウロロギア、皮膚科はデルマトロギア、皮膚泌尿器を略してウロデルと言います。

(以下、2013年12月に内容を書き換え。)



院長紹介 医学博士 木村 明

履歴： 東大卒・東大病院医局長・東大講師・東京共済病院部長
泌尿器科専門医・超音波専門医

院長挨拶

横浜市都筑区センター南駅バスターミナル前の泌尿器科・男性皮膚科クリニックです。

院長の木村明は1953年生まれで、2013年還暦を迎えました。

1978年東大を卒業し、すぐ泌尿器科医になりましたので、泌尿器科に関しては35年のベテランです。

超音波医学会認定専門医でもありますので、結石・頻尿の方には院長自ら超音波検査を行います。

男性皮膚科は特に非露出部を得意としております。

泌尿器科学会認定専門医の院長が一人で診療しております。

皮膚科学会認定専門医はおりません。

得意分野を明確にするため、2013年、診療科目を泌尿器科・皮膚科から、

泌尿器科・男性皮膚科に変更しました。